

第1 歳入

諸 収 入

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 広告付電子表示板の設置 (企画調整課・契約管財課)	336,000 円	民間広告代理店が庁舎1階、保健センター及び福祉センターに広告付電子表示板(コミュニティビジョン)を平成22年6月1日に設置し、行政情報と民間企業の広告を放映し、広告代理店から放映料を得た。 ・42インチモニター 庁舎1階 10,400円×2台×10か月=208,000円 ・32インチモニター 保健センター 7,900円×1台×10か月=79,000円 ・20インチモニター 福祉センター 4,900円×1台×10か月=49,000円
2 廃家電類(家電リサイクル法対象外)の売却 (環境課)	6,800 円	家電リサイクル法対象外の廃家電類を売却し、ごみの減量化を図った。 ・23品目 64点 重量841キログラム

第2 歳出

1 一般会計

(1) 総 務 費

事業名等	事業費	内 容 と 成 果
1 庁舎警備委託 (契約管財課)	5,524,337 円	専任当直員5名のうち2名の委託化を図った。
2 庁舎地上デジタル放送移行対策事業 (契約管財課)	168,000 円	庁舎に起因する地上デジタル放送受信障害世帯に対して、受信対策工事を行った。 ・対象住宅 3棟(8世帯) ・工事期間 平成22年10月9日(土)から平成22年10月31日(日)まで
3 携帯電話情報提供サービス委託 (秘書広報課)	42,000 円	テレモ自治体情報事業(重要なお知らせのメール配信サービス)終了に伴い、メールの種類(カテゴリ)を利用者(登録者)が選択し、必要な情報を取得できる新たなサービス(ふっさ情報メール)を構築及び登録者の移行を実施し、市民サービスの向上を図った。 ・移行登録者 1,559名
4 ホームページ管理事業 (自動多言語翻訳システム) (秘書広報課)	301,927 円	ホームページコンテンツを画面上で翻訳する自動多言語翻訳システム(英語、中国語(簡体字・繁体字)及び韓国語)を導入し、外国人の方などへの情報提供を充実するとともに、利便性の向上を図った。 ・翻訳回数 3,967件
5 福生市行政改革大綱 (第5次)・同推進計画 策定事業 (企画調整課)	0 円 (内部印刷)	行政改革を一層推進するため、「自律した自治体の確立」を新たな目標とし、平成23年度から平成26年度までを計画期間とする福生市行政改革大綱(第5次)及び同推進計画(推進項目35、推進事項71)を策定した。 ・成果品 福生市行政改革大綱(第5次)・同推進計画 ・A4判 各120部

事業名等	事業費	内容と成果
6 福生市総合計画（第4期）の推進 （企画調整課）	191,956 円	福生市総合計画（第4期）を推進するため、総合計画ダイジェスト版を全戸配布し、市民への周知を図った。 ・配布部数 28,775 部
7 住民情報システム更新 （情報システム課）	171,315,480 円	平成 21 年度に決定した更新事業者による新住民情報システムの基本設計を基にシステム更新を行った。 ・システム更新日 平成 22 年 11 月 29 日（月） ・更新システム数 住基・税を含む 19 システム ・新規システム数 国民健康保険給付システム及び就学援助費システムの 2 システム ・住民情報システム更新支援委託料 2,100,000 円 ・住民情報システム更新委託料 61,950,000 円 ・住民情報システム移行用データ作成委託料 71,977,500 円 ・据付調整等委託料 22,044,750 円 ・機器借上料（平成 22 年度分） 13,243,230 円
8 中学生交通安全教室実施事業 （安全安心まちづくり課）	262,500 円	自転車安全利用に関する交通安全教育の充実を図るため、スタントマンによる交通事故を再現した交通安全教室を実施した。 ・開催日 平成 22 年 10 月 9 日（土） ・会場 福生第二中学校 ・中学生交通安全教室実施委託料 262,500 円
9 町会・自治会貸与用折りたたみ椅子購入 （協働推進課）	2,659,125 円	地域活性化事業の際に必要な、軽量折りたたみ椅子を町会・自治会に貸与し、地域活動への積極的な参加促進を図った。 ・折りたたみ椅子（アルミパイプ製） 390 脚
10 幼稚園就園奨励費補助金 （子ども育成課）	36,978,700 円	私立幼稚園に在籍する幼児の保護者の経済的負担を軽減するため、所得に応じて補助金を交付し、幼稚園教育の振興を図った。子ども手当の創設を踏まえ、低所得者への給付の重点化を図る観点から、国庫補助単価のあり方の見直しがされたことにより、「市民税所得割額 34,500 円を超えて 183,000 円以下の世帯」の補助限度額が激変することとなり、東京都が 10/10 補助で緩和した。 ・補助対象児童数 延べ 384 名
11 第 4 期男女共同参画行動計画策定事業 （協働推進課）	349,400 円	男女共同参画審議会により男女共同参画を推進するための基本的な考え方について答申を受け、男女共同参画施策の総合的・計画的な推進を図るための福生市男女共同参画行動計画（第 4 期）を策定した。 ・男女共同参画審議会 5 回実施 ・委員報酬 246,500 円 ・印刷製本費 102,900 円 ・印刷部数 200 部
12 輝き市民サポートセンター運営事業（備品借上分） （協働推進課）	396,598 円	センターのパソコン・印刷機・複写機は、市民活動団体の利用頻度が高く老朽化が進んでいたため、新たな備品のリース契約を行い利用者の利便性を図った。 ・複写機借上料 156,676 円 ・印刷機借上料 74,022 円 ・電算機借上料 165,900 円

事業名等	事業費	内容と成果
13 第 68 回国民体育大会 福生市準備委員会補助金 (国体準備室)	2,245,060 円	平成 25 年に開催される第 68 回国民体育大会の競技会(ソフトボール競技(成年女子))の成功に向けて、関係機関・団体等の代表者により組織された「第 68 回国民体育大会福生市準備委員会」に対し補助金を交付することにより、当該大会の開催準備を推進した。 なお、同準備委員会は、東京都での国民体育大会開催正式決定(平成 22 年 7 月 7 日決定)を受け、「スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会」へ改組・移行した。 スポーツ祭東京 2013 第 68 回国民体育大会福生市実行委員会 ・設立(改組・移行)日 平成 22 年 8 月 22 日(日) ・委員等 会長 1 名 副会長 8 名 常任委員 34 名 委員 33 名 顧問 5 名 参与 20 名 監事 3 名 計 104 名
14 特別徴収推進事業 (課税課)	615,927 円	普通徴収となっている給与所得に対する個人住民税の特別徴収推進に向け、周知のための通知書の発送を行った。 また、これに伴い、平成 23 年度特別徴収事業所の増加が見込まれるため、税額決定通知書、納入書等の増刷を行った。 ・印刷製本費 424,567 円 ・通信運搬費 191,360 円 (11 月発送分 1,844 件 平成 23 年 3 月発送分 548 件)
15 国税連携システム導入 (課税課)	2,025,450 円	住民税課税に必要な所得税確定申告のデータの取り込みについて、紙媒体による入力から電子データによる取り込みに切り替えるシステムの導入を行い、課税事務の効率化を図った。 ・導入委託料 1,764,000 円 ・プログラム使用料 261,450 円
16 市税等収納代行業務導入委託 (収納課)	15,750 円	平成 23 年度から市税等のコンビニエンスストア収納等を実施するため、システムの構築、環境の整備等の準備業務を委託した。
17 納付書等読取機改修費負担金 (収納課)	894,600 円	住民情報システムの更新に伴い、市税等の納付書の読取位置が変更となったため、機械の改修費用を指定金融機関に負担金として支払った。
18 国民投票システム導入委託 (選挙管理委員会事務局)	1,524,600 円	「日本国憲法の改正手続に関する法律」(国民投票法)の平成 22 年 5 月施行に対応するため、システムの設定及び運用テストを実施した。 ・住民記録系及び名簿管理システム分 892,500 円 ・当日投票システム分 289,800 円 ・期日前投票システム分 342,300 円

事業名等	事業費	内容と成果
19 参議院議員選挙の執行 (開票事務開披分類等 業務の一部委託化の実 施) (選挙管理委員会事務局)	17,809,168 円	平成 22 年 7 月 25 日任期満了に伴う参議院議員選挙を執行した。 経費削減及び高齢者の雇用対策のため、選挙における開票事務の うち、開披分類等業務の一部を委託した。 ・公示日 平成 22 年 6 月 24 日(木) ・投票日 平成 22 年 7 月 11 日(日) ・東京都選出 当日有権者数 47,908 人 投票者数及び投票率 27,528 人 57.46% ・比例代表選出 当日有権者数 47,908 人 投票者数及び投票率 27,525 人 57.45% ・総事業費 17,809,168 円 (・開票事務開披分類等業務委託料 33,600 円)

(2) 民生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 生活保護業務データシ ステム導入委託 (社会福祉課)	908,250 円	厚生労働省が構築する生活保護業務データシステムに参加し、生 活保護の適正な実施及び事務処理の効率化を図るため、既存生活保 護システムの改修等環境の整備を行った。
2 レセプトオンライン請 求システム導入 (社会福祉課)	2,460,150 円	医療扶助レセプトの電子化対応に伴い、生活保護等版レセプト管 理システムを構築し、支払基金とのオンライン化を図った。 ・レセプトオンライン請求システム導入委託料 750,750 円 ・備品購入費 (レセプト管理システム機器一式) 1,709,400 円
3 地域福祉計画・バリア フリー推進計画改定委 託 (社会福祉課)	1,837,500 円	市民が互いに支え合い、地域の中で自立し安心して暮らせる福祉 のまちづくりを推進するため、平成 19 年 3 月に策定した「第 3 期福 生市地域福祉計画改定版」及び平成 16 年 3 月に策定した「福生市バ リアフリー推進計画」の見直しを行い、第 4 期福生市地域福祉計画 及び第 2 期福生市バリアフリー推進計画を策定した。 ・成果品 第 4 期福生市地域福祉計画 A 4 判 300 部 第 2 期福生市バリアフリー推進計画 A 4 判 300 部
4 福祉バス運行事業 (介護福祉課)	22,516,200 円	高齢者や障害者等の交通弱者の方が市内福祉施設等をより利用し やすくするため、平成 22 年 4 月 1 日より福祉バスの運行を本格実施 した。 ・コース 福生コース及び熊川コースの 2 コース ・便数 1 日 8 便 ・福祉バス運行委託料 21,697,200 円 ・福祉バス事務委託料 819,000 円
5 認知症高齢者グルー プホーム防火対策緊急整 備事業補助金 (介護福祉課)	3,852,000 円	消防法施行令の一部改正に伴い、認知症高齢者グループホームに スプリンクラーを設置するための補助を行った。

事業名等	事業費	内容と成果
6 介護予防フォローアップ事業 (介護福祉課)	1,949,700 円	主に介護予防教室の修了者を対象に、柔道整復師の指導のもと個人の身体状況などに応じた機能訓練を行った。訓練後は柔道整復師によるチェックにより、継続してトレーニングを行うことも可能とし、継続しない場合は3か月後に各接骨院から連絡を取りチェックを行う体制とした。さらに、状態によっては包括支援センターや市につなげる役割も持たせるなど、細かな指導とフォローも行った。 ・参加者 延べ41名
7 救急医療情報キット配布事業 (介護福祉課)	985,061 円	緊急時に意識を失うなど、自己の状況を救急隊員に伝えられない救急時医療に備えるため、医療情報を保管する救急医療情報キットを申請者に配布した。 ・対象者 65歳以上の高齢者、身体障害者手帳登録者、「愛の手帳」登録者、精神障害者保健福祉手帳登録者等 ・申請者数 993名 ・配布開始 平成22年7月から
8 つくし保育園建設費補助(保育所建設費補助金) (子ども育成課)	197,902,000 円	社会福祉法人清心福祉会が実施するつくし保育園の園舎建替整備事業に要する費用の一部を助成し、子育て環境の改善を図った。 ・保育所緊急整備事業補助金(国負担) 113,087,000 円 ・待機児解消区市町村支援事業補助金(都負担) 56,543,000 円 ・保育所建設費補助金(市負担) 28,272,000 円
9 子ども手当 (子育て支援課)	919,386,000 円	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、中学校修了前の児童を対象に、月額13,000円の子ども手当を支給した。 (対象者が公務員の場合は所属機関にて支給) ・支給対象数(平成23年3月末) 受給者数 4,554人 児童数 7,242人 平成22年度は平成22年4月分から平成23年1月分までを支給し、平成23年2月分及び3月分は平成23年度にて支給
10 児童扶養手当 (子育て支援課)	299,853,780 円	ひとり親家庭に対する自立を支援するため、平成22年8月1日から父子家庭の父にも児童扶養手当を支給し、ひとり親家庭への自立支援策の充実を図った。 ・対象者数(平成23年3月末) 744人(うち受給者659人) 父子世帯 46人(うち受給者43人) 母子世帯 698人(うち受給者616人)
11 学童クラブ委託料 (子ども育成課)	91,353,592 円	福生市社会福祉協議会に委託している学童クラブ事業の中で、更なる育成サービスの充実を図るため、8学童クラブの指導時間を夕1時間、朝30分(土曜、三季休業日等)延長し、放課後の健全育成の向上に努めた。 ・延長育成の利用者数 延べ642人

(3) 衛生費

事業名等	事業費	内容と成果
1 福生病院組合建設費負担金 (健康課)	446,819,000 円	2市1町(福生市、羽村市及び瑞穂町)で運営する公立福生病院の建て替えのための建設費を、負担割合に応じて負担金として支出し、安全で安心な医療サービスの充実を図った。

事業名等	事業費	内容と成果
2 健康づくり推進員啓発活動の推進 (健康課)	534,248 円	月1回の定例会において健康増進に関するイベント等を企画し、夏休みラジオ体操、駅頭活動、講演会等を実施した。活動の際にはベストやのぼりを利用し、市民に対し推進員の活動の周知を図った。また、推進員に対し地域の健康づくりについて理解を深めてもらうため、西多摩保健所職員による学習会を行った。
3 公園健康遊具設置工事 (健康課)	1,872,150 円	既存の健康遊具に加えて、高齢者でも安心して使える健康遊具を新たに設置し、身近な公園で運動ができる環境を整備した。 ・設置場所 明神下公園 ・設置遊具 グルグル肩回旋・のびのびサークル 遊具の正しい使い方を説明したピクトパネル
4 乳幼児等経過観察・発達健康診査事業 (健康課)	1,298,240 円	乳幼児健康診査等で判断がつかない子や一時的な指導では問題が解決しない子、運動発達遅滞、精神発達遅滞が疑われ、発達面で経過観察が必要と判断された子に対して、個別相談と併せて保育士が遊びを通して集団での対応を指導し、その子に合った支援を実施した。
5 日本脳炎予防接種事業 (健康課)	2,813,714 円	平成17年5月以降、副反応の問題等から積極的勧奨を差し控えていた日本脳炎の予防接種について、平成22年4月から厚生労働省が積極的勧奨を再開したことに伴い、接種体制を整備した。 ・対象年齢 3歳 ・接種回数 1期初回2回までに対し積極的勧奨を行った。
6 環境基本計画の改定 (環境課)	1,417,500 円	環境基本計画は目標年次が平成35年度と長期に及ぶ計画で、この目標を達成するため着実な進行管理を行う視点から、今までの取組の成果の検証、計画を総点検、見直しを行い、より具体的な取組が推進できるよう環境基本計画中期実施計画を策定した。
7 環境家計簿普及事業 (環境課)	7,880,895 円	環境配慮行動のきっかけともなる環境家計簿を普及するため、福生市内を全戸訪問し、その取組を依頼することにより、環境へ配慮する市民意識の向上を図った。また、取組世帯の二酸化炭素排出量などの情報を収集し、データの集計及び分析を実施した。 ・訪問回収期間 平成22年6月3日(木)から同年11月30日(火)まで ・訪問回収総件数 40,554件 再訪問回数含む。 ・回収件数 1,806件
8 地球温暖化対策設備普及事業(一般家庭) (環境課)	8,010,000 円	地球温暖化対策を推進するため、住宅用省エネルギー設備及び新エネルギー設備を設置した市民に対して、その経費の一部を助成することにより、環境へ配慮する市民意識の向上及び二酸化炭素の排出量の削減を図った。 ・助成対象設備(7設備) 太陽光発電システム、太陽熱利用システム、CO ₂ 冷媒ヒートポンプ給湯器、潜熱回収型ガス給湯器、ガス発電給湯器、燃料電池、ペレットストーブ ・助成設備数 104設備

事業名等	事業費	内容と成果
9 発泡スチロール処理室 換気扇等の修繕 (環境課)	787,500 円	発泡スチロール処理室の換気扇を大型化することにより、作業環境の改善を図った。

(4) 農 林 水 産 業 費

事業名等	事業費	内容と成果
農業振興計画の策定 (地域振興課)	0 円 (内部印刷)	福生市の農業が都市環境と調和し、継続的に発展できるよう、長期的な視点から、農業者、市民、関係機関及び行政が一体となって取り組む方向性を示すため、農業振興計画を策定した。

(5) 商 工 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 地域ブランド発信モデル事業委託 (地域振興課)	6,394,500 円	観光事業の充実を図るため、空き店舗を活用して、観光案内所「くるみる ふっさ」を開設した。福生市及び交流市(登別市及び守山市)の名産品を紹介し、積極的に地域ブランドを発信するとともに、市内観光ツアーガイドを実施し、地域資源の発信を図った。(東京都緊急雇用創出事業を活用)
2 福生市商工会補助金 (地域振興課)	15,163,574 円	商工会の運営及び商工会が実施する商工業振興対策事業に対する補助を充実した。 今年度は、Fの店推進事業、セミナー参加費助成事業、ビジネスマッチング参加費助成事業及び福生七夕まつり記念花火打ち上げの補助を追加した。 ・人件費分 5,770,000 円 ・事業費分 9,393,574 円
3 商店街店舗実態調査委託 (地域振興課)	673,522 円	商店街の店舗について今後の活用方針等を、所有者、経営者の意向を調査することでその実態を把握し商店街振興施策に活用するため、実態調査を実施した。(東京都緊急雇用創出事業を活用) ・調査対象地域 銀座通り3商栄会 ・調査対象店舗・事業所数 112件 ・調査票回収 105件
4 まちづくり振興研究等委託 (地域振興課)	6,300,000 円	平成21年度に実施した商店街振興基本調査を踏まえ、人口流出要因の把握、人口の誘致定着に関する戦略の提案、福生市の魅力再発見プロジェクト、商店街振興ワークショップの開催と活動支援及び報告書の作成を委託した。(東京都緊急雇用創出事業を活用)
5 ロケ支援事業の充実 (地域振興課)	0 円	市民エキストラ登録制度及びロケ弁当事業者登録制度を創設し、ロケ支援体制を強化した。また、多摩FC連絡会の広域連携事業として、昭島市と共同してロケ地ツアーを実施し、ロケ資源の活用方法についてモニタリングを行った。 ・登録数(平成23年3月末) 市民エキストラ 53名 ロケ弁当事業者 4社

事業名等	事業費	内容と成果
6 消費者相談の充実 (地域振興課)	136,996 円	<p>専門研修による相談員のスキルアップと相談室の備品の充実を図った。(東京都消費者行政活性化交付金を活用)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談員研修参加費 9,600 円 備品購入費 127,396 円

(6) 土木費

事業名等	事業費	内容と成果
1 牛浜駅自由通路整備事業 (施設課)	30,616,026 円	<p>エレベーター・エスカレーター等の設置による安全性と利便性の向上及びバリアフリー化を図るため、JR牛浜駅の駅舎改修のための土地測量委託及び設計委託を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地測量委託料 1,995,000 円 設計委託料 28,621,026 円
2 市道幹線 - 3号線舗装打替工事 (施設課)	11,025,000 円	<p>舗装の著しい損傷に対処するため、舗装打替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延長 205.0m 幅員 7.0m 中級型舗装 1090.15 m² 半たわみ舗装 240.19 m² 工事請負費 11,025,000 円
3 市道幹線 - 1号線舗装打替工事 (施設課)	4,050,900 円	<p>舗装の著しい損傷に対処するため、舗装打替工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延長 50.0m 幅員 12.5m 切削オーバーレイ工 575.8 m² 半たわみ舗装 179.4 m² 工事請負費 4,050,900 円
4 市道第 93 号線道路改良事業 (施設課)	2,974,650 円	<p>玉川上水沿いの市道第 93 号線について、舗装工事等を実施し、快適な道路網としての整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 延長 135.2m 面積 309.0 m² 地先境界ブロック 87.0m 車止め 2 箇所 工事請負費 2,974,650 円
5 青梅橋改良事業 (施設課)	21,830,550 円	<p>地元住民等からの要望により、ホテルのイメージに合った高欄改修、耐震補強等を実施し、快適な橋りょうとしての整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計委託料 1,924,650 円 工事請負費 19,905,900 円
6 都市計画マスタープラン改定事業 (まちづくり計画課)	5,008,500 円	<p>今後 10 年程度の新たな都市計画マスタープランを策定するに当たり、現行の都市計画マスタープランの分析、評価及び見直しを行う事業であり、市民参画を重視しながら策定業務を進めた。市民アンケート調査等を行いながら、調査報告及び業務報告書の提出を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン策定支援委託料 5,008,500 円
7 公園・緑地、道路等施設の総点検事業 (施設課)	5,916,541 円	<p>市内施設の適正な維持管理を行うために、施設(公園、緑地、道路等)の点検を 2 グループ体制により実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 土木作業嘱託員報酬 3,068,800 円 公園点検等作業員賃金 2,334,960 円 自動車借上料 297,360 円 消耗品費 118,440 円 備品購入費 96,981 円
8 緑地樹木等調査委託 (施設課)	1,554,000 円	<p>平成 24 年度に見直しを予定している緑の基本計画の資料とするため、玉川上水緑地(日光橋公園、水喰土公園)の樹木、植物、土等を調査した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑地樹木等調査委託料 1,554,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
9 原ヶ谷戸地区緑地整備 工事 (施設課)	392,700 円	原ヶ谷戸地区緑地として借上げをした土地の敷地の管理として柵と植栽を整備した。 ・丸太柵設置 289m 番線 3段 ・やまもみじ3本、やまぼうし3本、つつじ10本、みつばつつじ8本、はぎ10本 ・原ヶ谷戸地区緑地整備工事 294,000 円 ・原ヶ谷戸地区緑地植栽工事 98,700 円
10 緑地保全整備事業 (施設課)	56,668,500 円	公園等を市民の散策路として維持管理するため、危険防止の剪定等を行い、機能の維持を図った。 ・実施箇所 せせらぎ遊歩道公園、柳山公園、加美平公園、加美上水公園、原ヶ谷戸どんぐり公園 ・設計委託料 3,360,000 円 ・工事請負費 53,308,500 円 (内訳) 加美平公園整備工事 7,402,500 円 下の川せせらぎ遊歩道公園整備工事その1 10,972,500 円 柳山公園整備工事 10,500,000 円 加美上水公園整備工事 3,900,750 円 下の川せせらぎ遊歩道公園整備工事その2 10,137,750 円 原ヶ谷戸どんぐり公園整備工事 8,610,000 円 原ヶ谷戸地区緑地剪定工事 1,785,000 円
11 福生南公園整備事業 (施設課)	36,610,000 円	福生南公園の平成19年9月の台風9号の被害に伴い一部修復後、仮開園中であつたものを整備し全面開園に向けた整備事業を実施した。 ・全体事業費 103,555,200 円 内 平成22年度分 36,610,000 円 平成23年度分 66,945,200 円 ・福生南公園改修等工事設計委託 5,880,000 円 ・福生南公園改修等工事(その1) 59,325,000 円 国庫債務負担行為 平成22年度分 15,237,000 円 平成23年度分 44,088,000 円 ・福生南公園改修等工事(その2) 37,321,200 円 平成23年度繰越明許 平成22年度分 14,920,000 円 平成23年度分 22,401,200 円 ・福生南公園改修等工事監理委託 1,029,000 円 国庫債務負担行為 平成22年度分 573,000 円 平成23年度分 456,000 円
12 地上デジタル放送移行 対策事業(第二市営住 宅A B棟) (まちづくり計画課)	525,000 円	平成23年の地上デジタル放送移行に伴い、第二市営住宅に起因する電波障害が残る世帯に対し、デジタル化対策を行った。 ・対象住宅 15棟(25世帯) ・工事期間 平成22年8月3日(火)から平成22年9月30日(木)まで

事業名等	事業費	内容と成果
13 第三市営住宅エレベーター設置事業 (まちづくり計画課)	7,143,685 円	第三市営住宅の5棟にエレベーターと各階共通の歩廊を設置し、バリアフリー化を図るための設計委託を実施した。 ・設計委託料 7,140,000 円 ・消耗品費 3,685 円 事業予定 平成23年度 第1号・2号棟 平成24年度 第3号・5号棟 平成25年度 第4号棟

(7) 消 防 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 防災管理用地除草委託 (安全安心まちづくり課)	40,023 円	防火水槽用地として利用している土地の適切な管理を行うため、用地の除草委託を行った。 ・除草箇所 7箇所 年2回実施
2 災害時要援護者登録制度 (安全安心まちづくり課)	475,218 円	平成22年7月1日より「福生市災害時要援護者登録制度」を開始。広報周知のためのチラシ印刷・全戸配布や、災害時において要援護者の確認済みを表すシールの印刷を行った。 また、災害時に備えて関係団体と登録者の情報共有を随時行う。 ・平成22年度未登録者数 839名
3 災害備蓄品配備(食糧) (安全安心まちづくり課)	2,485,875 円	福生市防災計画にて想定される必要な備蓄食料数を確保するため、災害備蓄用食糧の購入を実施した。 ・缶入り乾パン 3,000 缶 ・アルファ米(炊き出しセット) 3,000 食分 ・アルファ米(袋入り) 3,000 袋 ・保存用乾燥お粥 1,000 袋 ・防災用クラッカー 2,100 パック ・新生児用粉ミルク 300 缶
4 全国瞬時警報(J-ALERT)システム整備事業 (安全安心まちづくり課)	7,290,337 円	国が緊急地震速報や武力攻撃等の緊急性が高い情報を発信した際に、自動で市の防災行政無線の放送を行うシステム「全国瞬時警報システム(J-ALERT)」を、東京都補助を利用し導入した。 また、平成23年4月1日からの運用開始に向けて、チラシを作成し、全戸配布を行った。

(8) 教 育 費

事業名等	事業費	内容と成果
1 入学資金融資制度 (庶務課)	430,348 円	福生市育英資金制度の廃止に伴い、平成22年度より、融資あっ旋限度額を「80万円」から「120万円」に、償還期間を「3年以内」から「4年以内」に、また、保証料の市負担を2分の1から全額とし、保護者の経済的負担の軽減及び教育の機会均等を図った。 ・申請件数 28件 ・あっ旋件数 17件 ・あっ旋金額 11,590,000 円 ・保証会社保証料(17件) 208,635 円 ・利子補給金(25件) 221,713 円

事業名等	事業費	内容と成果
2 スポーツ教育推進校事業 (指導室)	442,500 円	第一中学校が東京都の指定を受け、生徒の健康増進や体力向上を図るとともに、積極的に運動やスポーツに親しみ、心身の調和的な発達を遂げるよう取り組んだ。 ・講演会 1回(元ソフトボール日本代表監督) 300,000 円 ・体育授業指導補助員の配置 57時間 142,500 円
3 コア・サイエンス・ティーチャー活用事業 (指導室)	452,900 円	東京都の委託を受け、理科教育において専門的な知識や技能を有し、指導的な役割を果たすコア・サイエンス・ティーチャーを養成した。また、第七小学校を理科教育支援拠点校とし、コア・サイエンス・ティーチャーによる理科教育に関する研修の準備を進めた。 ・消耗品費 452,900 円
4 小学校教育用パソコン等整備事業 (指導室)	6,262,641 円	図書室のパソコン配備を継続するとともに、教員に対して、一人1台の校務用パソコンを配備して、校務の効率化を図った。 ・パソコン配備台数 143 台 職員室 115 台、図書室 14 台、授業用 14 台
5 通級指導学級事業 (指導室)	2,187,371 円	情緒的に課題のある児童生徒に対する支援の充実を図るため、現在市内三校(五小・六小・二中)に設置している通級指導学級に加え、第三小学校にも通級指導学級を開設した。
6 小学校校庭改良事業 (庶務課・施設課)	16,998,392 円	校庭の排水性の悪化により、雨天後、授業に支障をきたしているため、第四小学校校庭の表土の補充及び排水設備の整備を行った。また、緑化対策及びヒートアイランド対策とともに教育活動の活性化を目的として校庭の一部芝生化を実施した。第二小学校については、実施設計を行った。 第四小学校 16,210,892 円 ・校庭整備 クレイ舗装 3,867 m ² 芝生化 544 m ² ・事務費等 15,692 円 ・監理委託料 655,200 円 ・工事請負費 15,540,000 円 第二小学校 ・実施設計 787,500 円
7 第四小学校便所改良事業 (庶務課・施設課)	714,000 円	老朽化した湿式便所を乾式便所に改良し、衛生環境の向上を図るとともに、段差の解消、車椅子対応トイレの設置、手すりの設置等でバリアフリー化、さらに自動水洗化、省エネ器具、感知式照明等により、省エネ化も図るための実施設計を委託した。 第四小学校 校舎 2 階中央トイレ 男女トイレ各 1 箇所 29 m ² ・設計委託料 714,000 円
8 第六小学校校庭防球ネット改良事業 (庶務課・施設課)	10,566,500 円	社会体育における校庭開放に伴い、野球やサッカーのボールが道路上に飛び出し危険であるため、既設の防球ネットの高さを嵩上げし、安全確保を図った。 第六小学校 ・防球ネット新設 ネット高 10m 延長 185.2m ・事務費等 10,850 円 ・監理委託料 580,650 円 ・工事請負費 9,975,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
9 小学校給水施設改良事業 (庶務課・施設課)	11,801,256 円	<p>学校での飲料水の直結給水化を図り、児童の健康及び安全を確保するとともに、老朽化した校内給水管の更新を行った。</p> <p>第六小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲料水直結給水化（校舎・体育館・校庭）及び校内給水管更新 ・消耗品費 9,756 円 ・設計委託料 1,207,500 円 ・監理委託料 556,500 円 ・工事請負費 10,027,500 円
10 地上デジタル放送移行対策事業（小学校） (庶務課・施設課)	50,480,097 円	<p>平成 23 年の地上デジタル放送移行に伴い、地上デジタル用 UHF アンテナ及び地上デジタル対応テレビを設置した。また、講堂放送設備の改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50 型薄型テレビ 90 台 (第一小学校 23 台・第二小学校 22 台・第三小学校 23 台・第六小学校 22 台) ・地上デジタル用 UHF アンテナ設置 4 箇所 ・小学校 7 校 講堂放送設備改修 ・事務費等 17,697 円 ・設計委託料 2,784,000 円 ・監理委託料 1,268,400 円 ・工事請負費 46,410,000 円
11 電波障害補償料等 (庶務課)	1,501,500 円	<p>平成 23 年の地上デジタル放送移行に伴い、第一小学校校舎に起因する電波障害の解消が見込めない 22 世帯に対し、多摩ケーブルネットワーク（TCN）によるデジタル化対策を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電波障害補償料（引込工事・宅内調整） 1,386,000 円 ・維持管理委託料 115,500 円
12 第二中学校便所改良事業 (庶務課・施設課)	54,510,311 円	<p>老朽化した湿式便所を乾式便所に改良し、衛生環境の向上を図るとともに、段差の解消、車椅子対応トイレの設置、手すりの設置等でバリアフリー化を行った。さらに自動水洗化、省エネ器具、感知式照明等を採用することにより、省エネ化も図った。</p> <p>第二中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校舎東西トイレ 9 箇所 263 m² ・体育館 1 箇所 18 m² ・事務費等 13,501 円 ・監理委託料 2,404,000 円 ・工事請負費 52,092,810 円
13 地上デジタル放送移行対策事業（中学校） (庶務課・施設課)	16,492,918 円	<p>平成 23 年の地上デジタル放送移行に伴い、地上デジタル用 UHF アンテナ及び地上デジタル対応テレビを設置した。また、講堂放送設備の改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・50 型薄型テレビ 24 台 (第一中学校 24 台) ・地上デジタル用 UHF アンテナ設置 1 箇所 ・中学校 3 校 講堂放送設備改修 ・事務費等 7,318 円 ・設計委託料 996,000 円 ・監理委託料 411,600 円 ・工事請負費 15,078,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
14 第一中学校特別支援学級教室改良事業 (庶務課・施設課)	1,029,000 円	第一中学校特別支援学級の生徒数の増加に対応するため、教室の拡幅及び教育内容に適合するように内部改修を行うための実施設計を行った。 第一中学校 ・新校舎 1 階特別支援学級教室拡幅 97.2 m ² ・設計委託料 1,029,000 円
15 中学校ランチルーム食器購入 (学校給食課)	1,138,200 円	中学校ランチルームの食器の買替えを行い、衛生管理の強化を図った。 ・第一中学校ランチルーム食器購入 深皿 600 枚 (3 種類 各 200 枚) ボール 400 個 (2 種類 各 200 個) 菜皿 200 枚 (1 種類) どんぶり 60 個 (1 種類) タンブラー 400 個 (1 種類) マグカップ 200 個 (1 種類)
16 第一・第二給食センター便所清掃委託 (学校給食課)	669,921 円	第一・第二給食センターの便所について、消毒を含む清掃を実施することにより、食中毒の発生原因となる感染症予防など衛生管理の充実を図った。
17 第一・第二給食センター立体式消毒設備等改良工事 (学校給食課)	32,597,460 円	食器などの消毒設備等が老朽化したことから、改良工事を行い、安全で安心な給食の提供に努めた。 (平成 21 年度繰越明許)
18 教育委員会収蔵美術品の管理及び活用 (生涯学習推進課)	352,134 円	絵画の保管状況改善のため、絵画収蔵棚(システムモジュールラック)を設置した。また、収蔵美術品の活用事業として、福生市収蔵美術品展を実施した。 ・開催日 平成 23 年 2 月 22 日(火)から同月 24 日(木)まで 場所 福生市プチギャラリー 2 階 第 1 展示室 展示作品 絵画 14 点 デッサン 3 点 来場者数 240 人 ・保険料 23,694 円 ・収蔵美術品展示会管理委託料 23,940 円 ・備品購入費(絵画収蔵棚) 304,500 円
19 文化財総合調査報告書印刷製本(石川家文書目録) (生涯学習推進課)	712,740 円	平成 17 年度から平成 21 年度まで実施した石川家の古文書資料の調査を資料目録として作成し、文化財総合調査報告書として刊行した。 ・収録資料件数 74,739 件(総数) ・発行部数 500 部
20 郷土資料室展示用資料購入 (生涯学習推進課)	223,000 円	郷土資料室の展示に供するため、次の資料を購入した。 ・ちりめん本「さかさまの日本」 ・ちりめん本「桃太郎」 ・ちりめん絵「尾張楼内喜長」 ・ちりめん絵「足利絹手染紫」

事業名等	事業費	内容と成果
21 文化財ガイド養成講座 事業 (生涯学習推進課)	182,000 円	地域の歴史や文化に関心のある市民に対する学習支援の一つとして、市内史跡めぐり等のガイドを行う人材を育成するため、年間 12 回の講座及び見学会を実施した。 ・講師謝礼 20,000 円×8回 160,000 円 ・有料道路使用料 17,800 円 ・施設入場料 2,000 円 ・駐車場使用料 2,200 円
22 市民会館防犯カメラの 設置(借上) (公民館)	77,385 円	利用者が安心して安全に利用できる環境づくりのため、犯罪防止、犯罪抑制及び市民会館の適正な運営の確保を目的として防犯カメラ等の設備を設置した。 ・カメラ 18 台 ・モニター 2 台 ・ハードディスクレコーダー 2 台 ・防犯カメラ借上料(平成 23 年 3 月から 1 か月分) 77,385 円 借上料(60 か月) 4,643,100 円
23 市民会館大ホール用金 屏風購入(備品) (公民館)	829,500 円	市民会館大ホール(もくせいホール)用の金屏風が老朽化したため買い替えた。
24 市民会館大ホール照明 装置改良事業 (公民館)	16,486,900 円	市民会館大ホール(もくせいホール)の照明装置(調光卓)等が老朽化したため改良工事を行った。 ・有料道路使用料 1,900 円 ・工事請負費 16,485,000 円
25 中央図書館貸出確認装 置設置事業 (図書館)	91,245 円	新規受入図書 of IC タグエンコード作業(バーコードの情報を一定の規則に従って記録すること。)の効率化を図るために、貸出確認装置(BDS)に対応した IC タグ読み書き装置を 1 台増設した。 ・貸出確認装置借上料(1 台) 91,245 円 (平成 22 年 5 月から 11 か月分) 借上料(60 か月) 497,700 円
26 中央図書館外壁タイル 落下防護工事 (図書館)	963,900 円	特定建築物定期調査により、外壁タイル接着面の空洞化によるタイル落下の危険性があり、利用者の安全を図るため中央図書館外壁周囲に防護柵を設置した。 ・工事請負費 963,900 円
27 武蔵野台図書館公用車 買替 (図書館)	1,028,190 円	武蔵野台図書館公用車を、環境に配慮した低公害車に買い替えた。 ・備品購入費 1,028,190 円
28 さくら会館防犯カメラ の設置(借上) (公民館)	26,431 円	利用者が安心して安全に利用できる環境づくりのため、犯罪防止、犯罪抑制及びさくら会館の適正な運営の確保を目的として防犯カメラ等の設備を設置した。 ・カメラ 7 台 ・モニター 1 台 ・ハードディスクレコーダー 1 台 ・防犯カメラ借上料(平成 23 年 3 月から 1 か月分) 26,431 円 借上料(60 か月) 1,585,878 円

事業名等	事業費	内容と成果
29 屋外体育施設公用車購入 (スポーツ振興課)	1,365,000 円	屋外体育施設巡回で使用しているトラックが経年劣化でエンジン等に不調をきたしたため、トラックを買い替えた。 ・備品購入費 1,365,000 円
30 屋外体育施設備品購入 (スポーツ振興課)	721,350 円	福生野球場人工芝の養生に使用する自走式ロータリーブラシを購入した。 ・備品購入費 721,350 円
31 福生野球場整備事業 (スポーツ振興課)	246,553,690 円	平成 25 年度東京国体のソフトボール競技実施に向けて、スタンド改修、防球ネット嵩上げ、照明塔建て替え、外野の人工芝化等を実施した。 ・監理委託料 4,700,850 円 ・工事請負費 185,589,600 円 ・工事請負費(電気設備) 53,143,650 円 ・事務費等 47,290 円 ・電波障害調査委託料 2,217,600 円 ・電波障害補償料 854,700 円 (経費はすべて平成 22 年度分)
32 中央体育館の運営委託 (スポーツ振興課)	24,186,750 円	中央体育館における受付業務、体育館内巡回等業務、中央体育館事業などの中央体育館の管理運営の一部を、NPO 法人福生市体育協会へ委託し、実施事業数及び利用者数の増加、受付業務の延長等、サービスの向上を図った。
33 熊川地域体育館キュービクル交換修繕 (スポーツ振興課)	714,000 円	キュービクル 1 基が絶縁不良となったため、交換し修繕を行った。
34 福生地域体育館冷暖房空調設備改良事業 (スポーツ振興課)	17,789,500 円	冷暖房空調設備の機能を回復させるため、改良工事を行った。 ・実施設計委託料 1,260,000 円 ・監理業務委託料 1,004,850 円 ・有料道路使用料 5,650 円 ・工事請負費 15,519,000 円

市制施行 40 周年記念事業

事業名等	事業費	内容と成果
1 新都市連絡協議会職員 交流研修 (職員課)	1,450,673 円 (総務費)	新都市連絡協議会構成市である北海道登別市・滋賀県守山市との間で、一層連携したまちづくりを進めるとともに、職員の幅広い能力及び資質の向上を図るため、職員を相互に派遣し、研修を実施した。 ・派遣期間 平成 22 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで ・福生市から滋賀県守山市都市経済部商工観光課に主任職 1 名派遣 北海道登別市より福生市生活環境部地域振興課に主任職 1 名派遣 受入れ
2 市制施行 40 周年記念 式典及び記念表彰 (総務課)	1,523,074 円 (総務費)	市制施行 40 周年に当たり、これを祝賀して平成 22 年 7 月 4 日に記念式典を挙行し、市制 30 周年記念以来 10 年の間で市政の進展に多大な功績のあった 425 名と 205 団体を表彰した。また、式典において、市制 40 周年記念映画の発表及び上映を行った。
3 防犯フェスティバル事 業 (安全安心まちづくり課)	1,042,590 円 (総務費)	市民の安全に関する意識の高揚を図るとともに、安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めることを目的として、防犯フェスティバルを実施した。また、この防犯フェスティバルに関連して防犯標語を募集し、選定された 10 点の防犯標語の看板を作成して市内の公園等に設置した。 ・開催日 平成 22 年 10 月 10 日(日) ・防犯フェスティバル費 483,990 円 ・防犯標語看板購入費 558,600 円 設置箇所 46 箇所
4 平和のつどい (総務課)	227,545 円 (総務費)	「市民が語る福生・昭和 30 年代 パート」 ・開催日 平成 22 年 8 月 15 日(日) ・会場 福生市民会館小ホール(つつじホール) ・講演 榎本令秀氏 「ある軍人」 ・座談会 講演者、企画委員 ・出演 ダイナマイト・ミキ氏 「昭和を歌う」 ・参加者 222 人
5 まちづくり市民活動シ ンポジウム事業 (協働推進課)	736,339 円 (総務費)	市制施行 40 周年及び輝き市民サポートセンター開設 5 周年を記念し、市民活動、協働をテーマとしたシンポジウムを行い、協働のまちづくりの推進と市民意識の醸成を図った。 「まちづくり市民活動シンポジウム」 ・開催日 平成 22 年 9 月 19 日(日) ・講師等謝礼 616,000 円 ・印刷製本費 87,339 円 ・会場借上料 33,000 円
6 テレビ公開番組事業 (総務課)	1,213,960 円 (総務費)	テレビ東京公開番組 ・「出張!なんでも鑑定団 in 福生」 開催日 平成 22 年 11 月 28 日(日) 会場 福生市民会館大ホール(もくせいホール) 事業費 607,366 円 NHK BS 公開番組 ・「あなたの街で夢コンサート」 開催日 平成 22 年 12 月 14 日(火) 会場 福生市民会館大ホール(もくせいホール) 事業費 606,594 円

事業名等	事業費	内容と成果
7 市制施行 40 周年記念 「ふれあいイベントラ リー」 (総務課)	-	福生市と同じく市制施行 40 周年を迎えた狛江市・清瀬市・東久留 米市・武蔵村山市の 4 市と連携し、各市で開催されるイベントを二 つずつ選出して、スタンプラリー形式により、「ふれあいイベントラ リー」を実施した。 ・福生市対象イベント 「第 60 回福生七夕まつり」 「第 22 回福生インターナショナルフェア」 ・市の歳出なし ((財) 東京市町村自治調査会「多摩・島しょ広域連携活動助成金」 を活用)
8 敬老大会 (介護福祉課)	1,226,397 円 (民生費)	市制施行 40 周年記念事業として、多年にわたり社会に貢献されて いる高齢者を敬い、長寿を祝う敬老大会を実施した。 ・開催日 平成 22 年 9 月 12 日(日) ・会場 福生市民会館大ホール(もくせいホール) ・参加者数 約 700 人
9 子育てシンポジウム (子ども育成課)	- (民生費)	市制施行 40 周年記念事業として、子育てシンポジウムを実施した。 ・日時 平成 22 年 5 月 30 日(日)午後 1 時から 4 時 30 分まで ・会場 商工会館(もくせい会館) ・参加者数 95 人 (事業費は児童館等施設指定管理委託料 83,999,590 円に含む。)
10 健康まつり(福生ふれ あいフェスティバル) (健康課)	2,919,548 円 (衛生費)	市制施行 40 周年記念事業として、第 21 回健康まつりを市民の健 康促進と健康に対する意識の向上を目的として開催した。 ・開催日 平成 22 年 10 月 31 日(日) ・会場 福生市中央体育館 ・参加者数 1,100 人
11 健康づくり講演会 (健康課)	103,245 円 (衛生費)	市制施行 40 周年記念事業として、NHK テレビ・ラジオ体操指導者 多胡肇氏を講師に迎え、市民の健康を理念に「健康づくりのための 身体の手入れ」と題して講演会を実施した。 ・開催日 平成 23 年 2 月 5 日(土) ・会場 福生市民会館小ホール(つつじホール) ・参加者数 197 人
12 ラジオ体操全国放送事 業 (健康課)	1,121,442 円 (衛生費)	市制施行 40 周年記念事業として、NHK ラジオ公開生放送「夏季巡 回ラジオ体操・みんなの体操会福生市大会」を開催し、市民一人ひ とりの健康に対する意識の向上と市民全体のコミュニケーションを 図り、「このまちが好き 夢かなうまち 福生」を全国に PR した。 ・開催日 平成 22 年 7 月 20 日(火) ・会場 多摩川中央公園 ・参加者数 1,152 人
13 ふっさ環境フェスティ バル (環境課)	1,350,000 円 (衛生費)	市制施行 40 周年記念事業として、6 月の環境月間に合わせて、環 境問題に対する市民の認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、 市民や事業者により組織された環境フェスティバル実行委員会が企 画・運営する市民参加型のイベントを開催した。 ・開催日 平成 22 年 6 月 6 日(日) ・会場 多摩川中央公園 ・出展団体(参加団体) 39 団体(一般、企業、事業者、フードブ ース) ・来場者数 3,700 人

事業名等	事業費	内容と成果
14 ふっさ6万人のキャン ドルナイト (環境課)	-	市制施行40周年記念事業として、環境に配慮のある暮らし方、食のあり方について、楽しみながら学べるイベントを事業所と市民との協働で実施し、環境配慮行動のきっかけ作りに寄与した。 ・日時 平成22年11月7日(日) 正午から午後7時まで ・会場 福生公園 ・来場者数 480人 ・市の歳出なし (みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金を活用し、福生スクラムマイナス50%協議会経費より支出 930,332円)
15 ふっさ環境フォーラム (環境課)	-	地球温暖化の課題を多くの市民と考えるため、講演会及び低炭素都市の実現に向けての研究発表の2部構成で行った。 ・開催日 平成23年3月5日(土) ・会場 福生市民会館小ホール(つつじホール) ・来場者数 140人 ・福生スクラムマイナス50%協議会と共催 ・市の歳出なし (みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金を活用し、福生スクラムマイナス50%協議会経費より支出 290,743円)
16 ふっさ花いっぱい運動 (環境課)	702,000円 (衛生費)	毎年、春と秋の2回、市民の方が楽しめるよう、町会・自治会、市内事業者、市民団体、学校に花苗を配布し、植栽を行っている。この花苗を植栽した花壇を対象に「花いっぱいコンテスト」を実施し、優秀な団体に表彰状や賞品を授与している。また、やなぎ通り110箇所に設置されたプランター、国道16号通り53箇所の植栽ますへの植栽の他、市営プール横の花壇に菜の花やコスモスを、柳山公園に彼岸花を咲かせ、市内を花いっぱいにする運動を実施した。 ・(春) マリーゴールド、サルビア、センパペコニア、菜の花 ・(秋) バンジー、ピオラ、葉ボタン、ノースポール、チューリップ、彼岸花
17 第60回福生七夕まつり委託 (地域振興課)	37,300,000円 (商工費)	市制施行40周年記念事業及び第60回記念として、「元気」をテーマに、竹飾りの充実を図り、新しい企画を盛り込み、多彩な催しを実施した。 イベント会場を第一小学校から、市役所「丘の広場」に移して開催し、最終日には11年ぶりに打ち上げ花火を実施した。 ・来場者数 401,700人
18 第58回福生市消防団 ポンプ操法審査会 (安全安心まちづくり課)	142,905円 (消防費)	市制施行40周年記念事業として、第58回ポンプ操法審査会を実施し、消防団員の士気向上を図るとともに、火災防御活動をより迅速かつ確実に行えるようにするため、ホースカーによるホース延長操法について審査を行った。 ・開催日 平成22年5月23日(日) ・会場 多摩川中央公園 げんき広場

事業名等	事業費	内容と成果
19 郷土資料室特別展示事業 (生涯学習推進課)	2,360,244 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、郷土資料室において、特別展示 4 件とそれに関連した講演会等を開催した。 1 特別展示 (1) 福生の歴史～昭和 45 年の写真展 (2) 戦時下の学校と子どもたち～平和のための戦争資料展 (3) 武州下原刀展 (4) 木版画の美 2 講演会等 (1) 江戸から大江戸へ 多摩の役割 (2) 戦中戦後の学校と児童文化 (3) 大石氏・後北条氏・徳川家の抱え工としての下原鍛冶 (4) 刀剣研磨実演会 (5) 平和のための戦争資料展展示解説会 3 展示図録等 (1) 近代戦争の歩みと戦時下の福生～平和のための戦争資料展 発行部数 300 部 (2) 武州下原刀展 発行部数 2,000 部 ・講座教室講師謝礼 110,000 円 ・印刷製本費 1,490,475 円 ・通信運搬費 93,770 円 ・手数料 268,000 円 ・保険料 48,020 円 ・展示解説パネル制作委託料 349,979 円 合計 2,360,244 円
20 市民会館主催事業 (公民館)	- (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、平成 22 年 6 月 12 日(土)から平成 23 年 1 月 15 日(土)までの間、各公演を開催した。 6 月 12 日(土) 茉奈 佳奈 1st LIVE TOUR「ふたりうた 2010」 8 月 5 日(木) げんき!げんき!福生! 9 月 11 日(土) 柳家小三治独演会 11 月 23 日(火) トリバンフェスティバル 1 月 15 日(土) 音楽のおくりものわいわいコンサート (事業費は市民会館指定管理委託料 81,447,000 円に含む。)
21 寿市民ひろば 「人生うたい語りのつどい」 (公民館)	355,800 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、高齢者の学習文化活動への参加の機会を設け、市民会館小ホール(つつじホール)にて人生うたい語りのつどいを実施した。 (「童謡・唱歌のひろば」「人生うたい語りのつどい準備講座」含む。)
22 市民音楽祭 (公民館)	827,000 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、市民アマチュア音楽家等の発表の場を 1 日設け、例年実施している福生市音楽愛好者連絡会との共催と合わせて 2 日間実施した。 (「市民音楽講座」含む。)
23 市民文化祭(福生ふれあいフェスティバル) (公民館)	4,092,139 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、平成 22 年 10 月 23 日(土)から同年 11 月 14 日(日)までの間、市民文化祭を行った。 また、10 月 30 日(土)の市民文化祭開場式後に劇団「太鼓と芝居のたまっ子座」による記念公演(和太鼓ライブ「祝祭」)を行った。
24 ウォーキング大会 (スポーツ振興課)	51,000 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、春、秋、新春の 3 回実施した。 ・ウォーキング講習会報償費 51,000 円

事業名等	事業費	内容と成果
25 市営競技場リニューアルオープン事業 (スポーツ振興課)	492,345 円 (教育費)	平成 22 年 3 月に国体に向けた整備工事を終えて、同年 4 月にリニューアルオープンしたことに伴い、リニューアルオープン式典とブラインドサッカーなどのイベント(ポイポイフェスタ)を開催した。 ・開催日 平成 22 年 6 月 6 日(日) ・ブラインドサッカー委託料 442,995 円 ・ポスター等印刷費 49,350 円
26 市民総合体育大会運営費 (スポーツ振興課)	1,790,138 円 (教育費)	市制施行 40 周年記念事業として、競技 27 種目を実施した。 (1 種目雨天中止)

2 国民健康保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 一般被保険者療養給付費給付 (保険年金課)	3,377,771,885 円	一般被保険者の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 244,937 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 178,190 円 ・一般被保険者一人当たり年間受診件数 13.43 件 ・1件当たり費用額 18,242 円
2 退職被保険者等療養給付費給付 (保険年金課)	257,331,332 円	退職被保険者等の疾病及び負傷に対して療養の費用を給付した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 335,736 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 234,791 円 ・退職被保険者等一人当たり年間受診件数 16.81 件 ・1件当たり費用額 19,975 円
3 一般被保険者療養費支給 (保険年金課)	47,964,006 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたととき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたととき又は柔道整復師による施術を受けたときに、療養の費用を一般被保険者に支給した。 ・一般被保険者一人当たり費用額 3,378 円 ・一般被保険者一人当たり保険者負担額 2,530 円 ・支給件数 6,266 件 ・1件当たり保険者負担額 7,655 円
4 退職被保険者等療養費支給 (保険年金課)	3,383,408 円	療養の給付を行うことが困難であると認めたととき若しくは緊急その他やむをえない理由によると認めたととき又は柔道整復師による施術を受けたときに、療養の費用を退職被保険者等に支給した。 ・退職被保険者等一人当たり費用額 4,398 円 ・退職被保険者等一人当たり保険者負担額 3,087 円 ・支給件数 494 件 ・1件当たり保険者負担額 6,849 円
5 一般被保険者高額療養費支給 (保険年金課)	380,264,933 円	一般被保険者が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が 80,100 円(上位所得者については 150,000 円、低所得者については 35,400 円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 6,305 件 ・1件当たり保険者負担額 60,312 円
6 退職被保険者等高額療養費支給 (保険年金課)	31,355,780 円	退職被保険者等が、同じ月内に同じ病院、薬局等で支払うべき一部負担金(食事療養に係る標準負担額を除く。)が 80,100 円(上位所得者については 150,000 円、低所得者については 35,400 円)を超えた場合に支給した。 ・支給件数 328 件 ・1件当たり保険者負担額 95,597 円
7 出産育児一時金支給 (保険年金課)	59,829,826 円	被保険者が出産したとき、当該世帯主に対して出産育児一時金を支給した。 ・支給件数 142 件 ・1件当たり支給額 390,000 円 13 件 420,000 円 129 件(産科医療補償制度に加入している場合)

事業名等	事業費	内容と成果
8 葬祭費支給 (保険年金課)	5,250,000円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行ったものに対して葬祭費を支給した。 ・支給件数 105件 ・1件当たり支給額 50,000円
9 結核・精神医療給付金支給 (保険年金課)	4,774,859円	被保険者が「結核予防法」及び「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づく給付を受けた場合に自己負担額(高額療養費を含む。)を支給した。 ・支給件数 4,099件 ・1件当たり支給額 1,165円
10 後期高齢者支援金等 (保険年金課)	800,552,204円	後期高齢者医療制度の被保険者の健康の保持と適切な医療の確保を図るため、社会保険診療報酬支払基金に対し、支援金及び事務費を拠出した。 ・後期高齢者支援金等 800,448,990円 ・事務費拠出金 103,214円
11 介護給付費納付金 (保険年金課)	339,626,215円	介護保険法による介護給付費に充てるため、国保加入者のうち40歳以上64歳までの第2号被保険者数に応じ、社会保険診療報酬支払基金に介護納付金を納めた。 ・52,107円×7,201人 - 35,596,292円(平成20年度精算分)
12 共同事業拠出金 (保険年金課)	535,519,070円	国民健康保険の財政の安定化を図るため、保険財政共同安定化事業及び高額医療費共同事業に要する費用を国民健康保険団体連合会に納めた。 ・高額医療費共同事業拠出金 94,027,002円 ・保険財政共同安定化事業拠出金 441,490,118円 ・その他共同事業事務費拠出金 1,950円
13 高額療養費資金貸付 (保険年金課)	17,196,188円	被保険者の一部負担金の軽減を図るため、高額療養費に相当する資金を貸し付け、被保険者の療養の給付と生活の安定を図った。 ・貸付件数 135件 ・貸付金額 17,196,188円 ・費用額 57,721,406円
14 保養施設宿泊費補助 (保険年金課)	15,000円	被保険者の健康の保持、増進を図るため、市長が指定する保養施設を利用した被保険者の宿泊費の補助を行った。 ・補助対象者 5人 ・1件当たり補助金額 大人3,000円×5人
15 特定健康診査・特定保健指導事業 (健康課)	40,755,615円	平成20年度から医療保険者に義務付けられた特定健康診査・特定保健指導を実施した。 ・特定健康診査 対象者 11,216人 受診者 4,988人 受診率 44.5% ・特定保健指導 対象者 534人 積極的支援参加者 20人 動機づけ支援参加者 94人 実施率 21.3%

3 介護保険特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 介護保険電算機保守委託 (介護福祉課)	3,738,420 円	介護保険事務処理を円滑に行うため、電算機、システム及び認定審査会用機器の保守委託を行った。
2 介護保険関係電算機器借上 (介護福祉課)	2,712,150 円	介護保険事務処理システム電算機及び認定審査会用機器を借り上げるにより、介護保険事務の効率化を図った。
3 認定調査嘱託員報酬 (介護福祉課)	5,586,000 円	要介護状態区分判定のため、要介護認定調査嘱託員による訪問調査を行った。
4 主治医意見書作成料 (介護福祉課)	8,132,250 円	要介護状態区分判定のため、主治医に意見書の作成を依頼した。
5 要介護認定調査委託 (介護福祉課)	88,200 円	遠隔地の認定調査については、当該地の指定居宅介護支援事業者に訪問調査を委託した。
6 認定審査会委員報酬 (介護福祉課)	5,250,000 円	任命された認定審査会委員により、要介護状態区分判定を行った。
7 介護サービス等給付費 (介護福祉課)	2,522,837,584 円	要介護認定(要介護度 1 から 5)を受けた被保険者で、在宅又は施設入所者に対して、介護サービスを給付した。
8 介護予防サービス等給付費 (介護福祉課)	65,024,810 円	要支援認定(要支援度 1・2)を受けた被保険者に対して介護予防サービスを給付した。
9 審査支払手数料 (介護福祉課)	3,735,685 円	介護給付費及び公費負担医療等に関する審査並びに支払事務を、東京都国民健康保険団体連合会に委託した。
10 高額介護サービス費 (介護福祉課)	55,044,830 円	要介護認定を受けて介護サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護サービス費を支給した。
11 高額医療合算介護サービス費 (介護福祉課)	8,369,530 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護サービス費を支給した。
12 高額介護予防サービス費 (介護福祉課)	16,369 円	要支援認定を受けて介護予防サービスを利用している被保険者に対して、サービスの利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額介護予防サービス費を支給した。
13 高額医療合算介護予防サービス費 (介護福祉課)	114,377 円	介護保険と医療保険両方の利用者負担の合計が利用者負担上限額を超えた分について、高額医療合算介護予防サービス費を支給した。
14 特定入所者介護サービス費 (介護福祉課)	121,033,950 円	低所得者の要介護者が介護保険施設サービスや短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所介護サービス費を支給した。
15 特定入所者介護予防サービス費 (介護福祉課)	14,000 円	低所得者の要支援者が短期入所サービスを利用した場合、食費及び居住費について、補足給付として特定入所介護予防サービス費を支給した。

事業名等	事業費	内容と成果
16 特定高齢者把握事業 (介護福祉課)	21,835,846 円	<p>特定検診等と同時に生活機能評価を実施し、医師の判定を基に特定高齢者を決定し、当該者に介護予防事業への参加を促した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診者数 4,782 人 ・特定高齢者数 811 人
17 高齢者虐待防止連絡会議設置 (介護福祉課)	76,500 円	<p>養護者による高齢者虐待防止、虐待を受けた高齢者の保護及び養護者に対する支援を円滑に実施するため、関係機関、民間団体等とのネットワークを構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員数 13 名 ・開催回数 連絡会議 1 回 <li style="padding-left: 100px;">ケア会議 1 回
18 介護保険相談員報酬 (介護福祉課)	2,376,000 円	<p>介護保険相談員により介護保険事業に伴う相談、苦情処理及び制度の周知を図った。</p>

4 後期高齢者医療特別会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 電算処理委託 (保険年金課)	441,000 円	後期高齢医療保険料の本算定により決定した保険料の納付書及び決定通知書の作成と封入処理を委託し、事務処理の効率化を図った。
2 広域連合納付金 (保険年金課)	775,743,819 円	後期高齢者医療の事務は、都内区市町村で構成する東京都後期高齢者医療広域連合が、保険料の徴収事務及び健康増進事業以外の事業を執行しており、その事業に必要な負担金を納めた。 <ul style="list-style-type: none"> ・療養給付費負担金 306,453,296 円 ・保険料等負担金 351,610,600 円 ・保険基盤安定負担金 62,158,635 円 ・事務費負担金 18,409,948 円 ・保険料軽減措置負担金 37,111,340 円
3 保健事業 (保険年金課)	14,583,520 円	後期高齢者の健康増進を図ることを目的に、健康診査や近隣の温泉施設の利用助成を行った。なお、平成 22 年度は、温泉利用施設を 2 施設追加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・健康診査費 14,351,075 円 ・健康増進費 232,445 円
4 葬祭費支給 (保険年金課)	15,200,000 円	被保険者が死亡したとき、その葬祭を行った者に対して葬祭費を支給した。 <ul style="list-style-type: none"> ・支給件数 304 件 ・1 件当たり支給額 50,000 円

5 下水道事業会計

事業名等	事業費	内容と成果
1 下水道プラン（福生市 下水道総合計画）策定 事業 (施設課)	7,875,000 円	<p>福生市下水道総合計画は、福生市の下水道の将来像とその実現に向けて今後 30 年間に取り組む施策を示した計画として策定した。</p> <p>昭和 48 年度に JR 青梅線福生駅を中心とした周辺市街地を対象に下水道事業認可を受け、以後、住民の生活環境の改善を目指し整備を推進してきた。本計画は、下水道事業の現状と課題を整理し、今後（短期・中期・長期）必要となる対策を見据えた計画である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書 3 部 ・福生市下水道総合計画（概要版） 50 部 ・福生市下水道総合計画 35 部
2 雨水貯留槽設置助成事 業 (施設課)	300,000 円	<p>樹木や道路等への散水、防火用水の備蓄、災害時のトイレの水の確保等に雨水を活用する雨水貯留槽の設置者に助成金を交付し、雨水利用の促進、水循環の再生を図った。</p> <p>本体購入価格の 2/3、限度額 5 万円を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置基数 12 基 ・助成額 300,000 円
3 下水道使用料助成事業 (施設課)	456,792 円	<p>心身障害者世帯等の経済的負担を軽減し、福祉の増進を図ることを目的として、心身障害者世帯等に対し下水道使用料を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請件数 262 件 ・助成額 456,792 円